

夏の工作教室を開催しました (Part2) 令和3年8月6日

北上山地民俗資料館では、子どもたちに地域の伝統的な生活技術や遊びの一端の体験してもらい、昔の暮らしについて興味を持ち、理解を深める機会として工作教室を開催しています。

漁具 [浮き玉] の編み方をアレンジして、「鉢カバー」を作ろう！



浮き玉ってなあに？

中が空洞になっている球状の漁具です。

網を浮かせる目的や自印となります。

ガラス製のものは、「ビン玉」「ガラス玉」と呼ばれることもあります。昔は木製で、明治・大正時代のニシン漁の際などに使われていました。その後、ガラス製のものが誕生し、現在はプラスチック製のものが使われています。



！本の麻紐で編んでいきます。編目をそろえて編むのが難しかったかな!! みんな上手に編むことができました!!



鉢カバーの完成!



ビー玉ストラップも同じ編み方で作れます♪

北上山地民俗資料館では、昔の技術で小物作り体験を行っています。出前もやっています。詳しくはお問い合わせ下さい。